

日本の詩の会とその方向と任務

1. 詩とは何か。 感じさせるもの。
2. 手法、なかげも、遺棄のけいしき。
3. 現代詩のあやも二つの流れ。
4. ニつう統一の問題。 (政治的理論より)
5. 詩壇を山崩すことの大衆化。
(大衆といふものは、この世に思ひつゝのみか)
今より早くあやめらるゝめ
 いちげれども合りにくいこと、政治的階級は
 あやうらむ (政治的階級と大衆)
6. 戦後の詩壇は未知の南極である。
7. 革命詩の道(ブーラーとトーマス)。
8. 解決の鍵は、共同詩人の位置と存在である。
9. 会全体の活動が、詩人と位置せしめ。
10. 大衆化、詩壇の向上、二つが統一。
11. 学幼者階級に多く接せよ。 その互映による詩壇は向上す。
12. 詩人の能力は個人の手力のみではない、大衆の筆勢と階級的な位置である。
 その場を今は接せよ。
13. 概論とは合り易い作家と異なる現論による組まれてくる (エッセイも合り易く
 らげはるゝめ)
14. 学幼者、農民の用いし場合、文学、平和、二つが統一路線の形成。

日本の詩の会とその方向と任務

此より
取られて
やる



(若くは若くは...)

運動方針 規則 予算 決算 会報 治政 支部と平らるる関係 統一路線

創作方法 批評基準の確立

1. 創作方法の統一を以て中心とし出すこと
2. 作家のたらくべき創作の立場をつくること
3. 創作方法の立場、語の立場から、評者や文壇運動の中での位置づけを定めること
4. その中から語の含意の性格の明確化を以て
5. 性格をはつきりするようによる 創作方法と同時に語彙の統一を以て
6. 評者による問題の統一を以て著者の語と評者の語とを混在して
7. 評者の統一を以て著者の語と評者の語とを混在して
8. 批評基準の統一を以て著者の語と評者の語とを混在して
9. 会報と評者を含むこと 会報による統一を以て著者の語と評者の語とを混在して
10. 支部規則 規則 綱領をつくること 会報の統一
11. 会報の資格

概念の含意を排除
しるべきに留意する
こと
批評基準

評者による問題の統一を以て著者の語と評者の語とを混在して
キカニは統一を以て著者の語と評者の語とを混在して
是より評者による問題の統一を以て著者の語と評者の語とを混在して